

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習Ⅲ-2		必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
遠藤 悠介	D316	y.endo	水曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	3 年次臨床実習の準備として、必要な知識の収集方法を取得する。また、実習に必要な評価方法の整理を行い、疾患固有の画像の診方を学習し、評価における統合と解釈について習得する。本講義では、症例について理解するための基礎的な知識の整理をするとともに、各症例に対して、個人単位で病態の理解から実際の評価、統合と解釈までの流れを学び、臨床実習における思考過程を習得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	各疾患の病態理解のため基礎医学（解剖学、生理学、運動学）の知識が必要となる。理学療法評価学及び診断学で学んだ評価内容についての知識が必要となる。				
教科書	指定なし				
参考書	症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト/ 編：豊田輝 / 羊土社 基本編・ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第2版 / 編：松本直人 / 文光堂 実践編・ケースで学ぶ理学療法臨床思考 第2版 / 編：松本直人 / 文光堂				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象疾患に関する情報を収集し、整理することができる。			PT (2)、(4)、(6)	
②	対象疾患の理学療法に関して、実際の評価を説明することができる。			PT (2)、(4)、(6)	
③	各疾患に関する思考過程について整理し、内容について討議することができる。			PT (2)、(4)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	臨床推論の思考過程および実践方法について学習する。 [担当：遠藤悠介]	講義	臨床推論とはなにか、概念と方法論について予習する。	1	
2	模擬症例(変形性股関節症)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	変形性股関節症の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
3	模擬症例(変形性股関節症)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	変形性股関節症の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
4	模擬症例(変形性膝関節症)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	変形性膝関節症の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
5	模擬症例(変形性膝関節症)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	変形性膝関節症の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
6	模擬症例(大腿骨頸部骨折)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	大腿骨頸部骨折の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
7	模擬症例(大腿骨頸部骨折)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	大腿骨頸部骨折の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
8	模擬症例(脊髄疾患・脊椎疾患)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	脊髄疾患・脊椎疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	
9	模擬症例(脊髄疾患・脊椎疾患)に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	脊髄疾患・脊椎疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

10	模擬症例（パーキンソン病）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	パーキンソン病の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
11	模擬症例（パーキンソン病）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	パーキンソン病の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
12	模擬症例（脳血管疾患）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	脳血管疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
13	模擬症例（脳血管疾患）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	脳血管疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
14	模擬症例（小脳性疾患）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	小脳性疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
15	模擬症例（小脳性疾患）に対する患者情報、評価結果より臨床推論、治療計画の立案を実施する。 [担当：遠藤悠介]	講義・ 実技・GW	小脳性疾患の臨床推論・治療計画の立案を実施する上で必要な知識について収集・整理する。	1
試	定期試験（実技） 達成度評価・評価のポイント参照			

達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	60	60
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

その他	①	✓	各回で実施する模擬症例に関する知識・技術・態度を問う客観的実技試験とする。実技試験は運動器系疾患症例 1 題と神経系疾患症例 1 題の模擬患者を対象として評価・治療に関する内容とする。	実技試験の結果について、実技試験終了後に点数の開示およびフィードバックを実施する。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
他 担 当 教 員				
教員の実務経験	大学病院、介護老人保健施設、訪問リハビリテーション施設等で 6 年間の勤務経験			
実践的授業の内容	臨床現場で使用する機会の多い評価方法について実技を中心に教示するとともに、実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う。			
そ の 他	感染対策 ：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。			